

高級感あるデザインと優れた機能性  
新タイプの上下式収納式車止めを開発



和家雄二さん

平成22年度 採択事業

その名は「キュービックバリカー」

ミハラコーポレーションは平成21(2009)年の創業。日本で唯一、直方体の形状をした、上下収納式の車止めを製造販売しています。商品名は「キュービックバリカー」(特許取得済み)。従来、収納式の車止めといえば、ステンレス製で円柱形というのが常識でした。「この円柱形のバリカーはスムーズに上げ下げができ、上げれば車止め、地中に収納すれば車寄せになりますし、大量生産もしやすく大変優れた製品なんです。実は僕も好きだったんですよ」と和家雄二さん。ではなぜ、直方体に？

それは5年ほど前、和家さんが建設会社に勤めていた頃、工事を請負した高級マンションから、車止め設置の依頼があったことがきっかけでした。「リバーシブルに使用したいということでしたので、迷うことなく収納式バリカーをお勧めしたところ、「あまり高級感がない」と洩られました。目からうろこでした。プロだったから、逆に感じることもなかった視点だったのかもしれません」。

和家さんは考えます。「エントランスに車が置かれないようコーンを立てるのは見栄えがよくない、抜き差し型は抜いたあとに穴ができるし抜いた物の処理が問題。固定式は高級感があり景観上も優れているがリバーシブルにはできない」。出した答えが、収納式と固定式の長所を併せ持つ「キュービックバリカー」でした。

形は重厚感のある直方体と決め、収納部の構造はなるべくシンプルに。きちんと収納でき無理なく解除ができるよう3ヵ月ほどかけて工夫を重ね、本体上部に付いている引き手で持ち上げ90度回転させるだけで、簡単に設置できるようにしました。



「キュービックバリカー」施工例

今までになかった“選択できる”魅力

「しかし、これでは円柱を直方体にしただけ」と満足するには至らず、天板部分に太陽光発電パネルを設置することに。昼間に蓄電、夜に照明が付くシステムを採用します。本体を突起させると車止め、収納すれば車寄せ、夜間には

知恵と卓越した技術

上げていても下げても照明として使え、なおかつ省エネルギーという画期的な製品はマンション側にも大好評。無事に採用され、確かな手応えを感じた和家さん。ひさしなどがあり太陽光が意味をなさない場合は、ソーラーパネルなしでも対応できるようにしました。

「収納式の車止めは、今まで選択の余地がありませんでした。けれど、これからはマンションの景観や周囲の環境に合わせて選択していただけます。五角、六角などさまざまな形が作れますし、これでエントランスの表情が変わりますよ。建物の顔、ともなり得るものだと思います」。

東京の個人宅からは1基のみの受注も。これも、独特の存在感あってこそといえるでしょう。



収納時。夜にはソーラーパネルが点灯

行灯や石材調の車止めも展開

2年前、さらに新しい商品を開発したい、とインターネットで知ったファンドに応募、採択されました。開発したのは、京都の町のあちらこちらで見かける行灯にヒントを得た、上下式の「キュービック灯り」です。本体部の四面に和紙状の亚克力をはめ込み、格子状、縦組、横組などで開口したものの。亚克力板の色や組模様が選べるのも特徴です。

キュービックバリカーも進化。格調の高さを感じさせる石材調の「ルミナストーン」、プラスチックの竹材を表層し、和風を追求した「ルミナバンブー」が新しく加わりました。「景観を守る意識の強い京都の方にごそ、建物と周囲との調和を考えて車止めを選んでほしい」と和家さんは言います。「全国展開は当然のことですが、まずは京都で、この京都生まれの車止めや照明が、定番の商品となればうれしいですね」。そのためにも、今はインターネットでの販売がメインですが、今後は地元の建築会社、設計会社、工務店などへの営業に力を入れることにしています。



足元を照らす「キュービック灯り」

1基ずつ、地元の技術で製作を

車止めも灯りも製作はすべて外注。「ステンレスの曲げ加工、溶接、磨き加工など地場産業の技術を守ることにつながればと願っています。また石材調の商品を通して、石材加工の技術伝承、受注の増加も見込めるのではないのでしょうか」。地元企業と手を携えて、1基1基が職人技で作られていくミハラコーポレーションの商品が、地区の美観に貢献する日が楽しみです。

和家さんは、新たな切り口の商品開発も視野に入れています。今、考えているのは、収納できる椅子や簡易テーブル。「人が集まる広場やイベントなどで必要に応じて出し入れができますから、場所を有効に使っていただけます」。ほかに、金庫を作れないかという打診もあったとか。「いわゆる床下収納の考え方ですね。防犯面はもちろん、地震、土砂崩れ、火事などにも耐えられ、流れてどこへ行ったかわからないということも防げます。さまざまな改良は必要ですが、考える余地はあると思っています」。

土地が狭く、災害も多いこの国で、美しい景観を保ちながら機能的に使える収納式は、車止めにとどまらない、大きな可能性を秘めています。

事業概要

株式会社 ミハラコーポレーション

<http://kyubiqu.sakura.ne.jp/>

代表：和家雄二

業種：車止めの製造・工事業

創業：平成21(2009)年 設立：平成21(2009)年

住所：〒603-8476

京都市北区大宮南箱ノ井町 14-2

TEL：075-492-8024 FAX：075-334-6377